

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 気仙沼市立面瀬中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒988-0206
宮城県気仙沼市岩月寺沢44番

E-mail : omose-jh@blue.ocn.ne.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 129名 女子 100名 合計 229名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（スポーツ文化）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

① 本校のESDでめざしたこと

ア ESDのねらいとして

「文化としてのスポーツ」をテーマに、様々な身体活動や身体表現、防災に関する諸活動をとおして、生きることの可能性を広げ、人間としての多様で豊かな感覚を養う。

イ ESDで育てたい資質・能力

- ・人間の尊重 ・多様性の尊重 ・非排他性 ・機会均等 ・共生
- ・コミュニケーション能力やソーシャルスキル等の力

② 今年度のESDの概要

ア 実践の概要

「文化としてのスポーツ」は、東日本大震災で受けた様々な影響を改善することを目的とした取組だが、多様性の受容、共生の精神という点で、とても有効な活動となっている。そこで、今年度は最終年度となるので、地域との連携の在り方や、総合的な学習の時間における縦割りコース別学習など、より効果的な活動となるよう、以下の内容で行った。

- 総合的な学習の時間の学習内容の見直しを図った。
- 桐蔭横浜大学や総合型地域スポーツクラブNEOの協力を得ながら実践した。
 - ・ 桐蔭横浜大学との連携（「文化としてのスポーツ」推進として）
バランスポールコース（第2回ふれあい交流）桐蔭横浜大学 徳田英次先生
 - ・ 総合型地域スポーツクラブNEOとの連携
第1回ふれあい交流 平成26年 5月11日（日）実施
第2回ふれあい交流 平成26年10月11日（土）実施（桐蔭横浜大学徳田ゼミ参加）

イ 今年度、特に工夫・改善したこと

総合的な学習の時間の学習内容をESDと関連性をもたせ、計画を見直した。「共生」「防災」「文化」に分けるとともに、学年ごとや全校縦割りの形をとるなどの工夫・改善を行った。テーマとなっている「文化としてのスポーツ」は〈文化〉の縦割りコース別学習の中に設定し、文化祭で発表した。器械体操をメインとした内容であったが、個人技の部分でも、友だちや先輩と呼吸を合わせることを意識させるなど、ESDで育てたい資質や能力を高められるような指導を行った。

	〈共生〉 1年生： 5時間 2年生： 23時間 3年生： 24時間	〈防災〉 1年生： 14時間 2年生： 14時間 3年生： 14時間	〈文化〉 1年生： 31時間 2年生： 31時間 3年生： 31時間
全校 各2h	共通ガイダンス1		
1年生 50h	○地域交流活動 5h	○避難訓練（一斉）3h	○縦割りコース別学習 ・ 郷土芸能コース
2年生 68h	○職場体験 23h	○救急救命講習（学年別）4h	・ 演劇コース
3年生 69h	○小学校との交流①16h ○小学校との交流②8h	○総合防災訓練（一斉）6h ○防災講話（一斉）1h	・ スポーツ文化コース ・ 創造コース①（映像） ・ 創造コース②（防災）

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（ ）